

研究主題 「一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育の推進」に関する本校の実践

加須市立志多見小学校

1 教師と児童生徒の信頼関係を築くために、あるいは、いじめ・暴力行為・不登校等の生徒指導上の課題を解決するために、小中連携（小中一貫）を通して具体的にどのような取組をしているか。

1 児童の実態

本校は児童数162名、6学級の小規模校である。現在のところ不登校・いじめ・暴力行為に関わる児童は見当たらない。児童は明るく元気よくあいさつができるが、自主性や積極性に欠ける面や自分本位な行動をとる面が見られることもある。保護者には本校の卒業生も多く、学校行事への関心も高く協力的である。地域の方々も学校へは協力的で児童の登下校の際には、毎日歩いて児童の交通安全指導等に支援をしていただいている。学校応援団への登録数も多い。

2 取り組みの内容

(1) 児童のよさをとらえた積極的な生徒指導

① 挨拶さわやか志多見小運動

明るくはっきりした声でさわやかな挨拶のできる子をめざして、毎朝正門に教師が立ち、児童一人一人の顔を見ながら笑顔で挨拶をして迎えている。一緒に登校を見守って歩いて来てくださる地域の学校応援団の方にも一人ずつ挨拶ができるように取り組んでいる。2学期以降は児童も（代表委員や縦割り班）立ち、さらに意識化を図る予定である。

② 朝の自主トレマラソン

登校後は毎朝、児童が赤白帽子をかぶり校庭に出て、グラウンドのコースを各自の目標に向けて走っている。教師も校庭で見守ったり、走ったり声かけをしたりしている。100周・200周・300周達成の児童は顔写真を児童玄関の掲示板に掲示している。学期末には300周達成者を表彰している。1学期は30人が表彰を受けた。

③ 児童会活動での指導

縦割り班（1～6年生）による異学年集団を組織して、集会活動やふれあい給食・遊び（木曜：ジャンボ昼休み）や挨拶運動などに取り組んでいる。班の担当教員も班長や高学年に助言をしながら一緒に活動している。縦割り活動を通して思いやりや協力する態度の育成を図っている。

(2) 校内指導体制の充実

① 規律ある態度の育成

- ・月の生活目標と「志多見っ子4つのほこり」（「あいさつ」「そうじ」「とき」「くつ」）を関連づけ、「4つのほこり」に関わる内容を月目標にし、意識化を図る。
- ・生活目標と「4つのほこり」は各教室の黒板右横に掲示をし、朝の会や帰りの会で毎日確認・ふりかえりをして意識化を図る。（資料①）

1学期の月目標	4月「明るいあいさつをします」【あいさつ】
	5月「やくそくを守ります」【とき】【くつ】
	6月「友だちと仲良くします」【あいさつ】
	7月「学校をきれいにします」【そうじ】【とき】

- ・毎月の朝会や昼の放送での指導
- ・登下校の安全指導 防犯ブザーの着用確認（一斉下校時）
- ・「学習のルール」「志多見っ子よい子の生活」の共通理解・共通指導（資料②）

② 生徒指導委員会での共通理解

職員会議の際に、必ず生徒指導委員会としての時間を取り、各クラスで配慮を要する児童について報告し合い、共通理解・共通行動が取れるようにしている。

③ 学校生活アンケートの実施

いじめや問題行動を早期発見するために、児童が学校生活を楽しく送っているか、悩んでいることはないか等の「学校生活アンケート」を実施している。年間3回の予定（5月・9月・1月）。

(3) 小中連携

① 小中連絡会

6年担任と中学校教員が、6年児童の様子（リーダー性、運動能力、学力、行動面、家庭の様子など）について話し合いをする。昨年度は3 / 18に実施。

② 中学校入学説明会

6年児童が中学校に行き、中学校の生活・学習・部活などの説明を受ける。部活動体験にも参加し、中学校生活に触れる。昨年度は1 / 21に実施。

③ 加須市小・中学校不登校問題対策委員会

年2回、主に生徒指導主任が出張し、その中で中学校区ごとに話し合いをもつ。問題のある中学生の様子（またはその生徒の小学校時代の様子）、小学校（特に6年生）の様子、問題のある児童生徒の家族関係などについて話し合う。

※ 昨年度まで実施していた小中連携事業

職場体験事業（中2）受け入れ

中学校の『職場体験事業』との連携で、本校の「サマースクール」に中学2年生数名を受け入れた。

中学生は児童の学習を担当や学校応援団協力者と共に見回り、〇つけやアドバイスなどを行った。また、水泳学習にも参加し、児童と一緒にプールに入って泳法の手本を見せたり、泳ぎの苦手な児童の補助をしたりした。身近な中学生が来ることで児童は親しみをもって中学生と触れ合い、意欲的に学習や水泳の活動に取り組んでいた。

参考 【保幼小連携】

小学校と幼稚園・保育園との滑らかな接続のために、積極的な連携をもっている。（同じ敷地内にある志多見幼稚園とは、これまでも交流が深く、近隣の市立第三保育所や私立の志多見保育園との連携を深めているところである。）

例1 合同遠足

1・2年生と志多見幼稚園の園児がペアを組み、合同で遠足に行く。（徒歩でむさしの村へ年3回程度 バスで東武動物公園へ年1回）

例2 合同プール

高学年と幼稚園児・保育園児がペアになり、一緒に小学校のプールに入り、交流をする。今年度は中学年とも実施した。

例3 合同運動会

小学校と志多見幼稚園が一緒に運動会を行う。入場行進では、一緒にトラックを行進した。

例4 1年生との授業交流

3学期に生活科で「次の1年生に学校の様子を教えよう」と学習のことや給食そうじのしかた、学校のやくそくなどを幼児に教える。

※志多見幼稚園とは年間に何回も交流している。

例5 5年生との交流

5年生は次年度に最高学年として新入生と関わるので、幼児（年長組）との交流を深めておくことよい。昨年度は絵本や紙芝居の読み聞かせ、幼稚園の「生活発表会」に向けた用具作成の手伝い、1日体験入学での校内案内などを行った。